

持続可能な 調達方針

目次

3	定義
3	目標
4	公開と更新
4	ロレックスのコミットメント
6	実行
	サプライチェーンのリスク管理
	サプライヤーの評価
	新規サプライヤーの選定
	通報システム
	透明性
	社内慣行の第三者監査
8	プロセス

定義

持続可能な調達

商品とサービスの調達は、品質やスケジュール、コストの要件が満たされ、社会的および環境的影響に対処している場合に持続可能と見なされます。この基準は、世界経済への影響を考慮に入れ、サプライチェーン全体や商品とサービス調達の全行程を通じて判断されるべきです。持続可能な調達は、全体的なサステナブルプロセスの一部であるため、すべてのステークホルダーが関係します。このプロセスでは、購入者もサプライヤーも同様に基準を遵守し、ロレックスの持続可能な開発憲章と行動規範に従いサステナブルな慣行を遂行していることが求められます。

サプライチェーン

材料や部品の輸送、抽出、加工、および最終製品への仕上げに関わる事業活動および商品やサービスを提供するすべての経済事業者の活動を包括するプロセス。

サプライヤー

特定の商品やサービスをロレックスに提供する個人、もしくは企業。

企業の社会的責任（CSR）

環境的および社会的影響を管理し、持続可能な開発のイニシアチブに貢献するために、企業がステークホルダーとともに取り組む戦略や活動計画。

目標

調達におけるロレックスの使命は、品質への永続的な探求、革新的精神、卓越性の追求といった倫理や価値観を保ちながら、必要な商品やサービスの入手を保証することです。この使命はロレックスのサステナビリティ戦略に完全に合致しています。

この持続可能な調達方針はスイス¹とヨーロッパ²の規制および、経済協力開発機構（OECD）のガイダンス³に基づいています。また、ロレックスのサプライヤーによって署名された持続可能な開発憲章やロレックスの社員向けの行動規範も参考にしています。

¹ 2021年12月3日付「紛争鉱物と児童労働に関するデューディリジェンスおよび透明性に係る施行令」（2022年1月1日現在版）

² EU 紛争鉱物資源規則2017/821

³ OECD 紛争地域または高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデューディリジェンス・ガイド（2016年4月）、付属資料および補足を含む

目的：

- 持続可能な調達慣行をまとめ、リスト化する
- 企業の調達決定に環境的および社会的要素を考慮に入れることを正式に行う
- 環境的および社会的に良好な影響を与える調達戦略を社内で推進する
- ロレックスのサプライヤーに対するコミットメントを再確認する
- サプライヤーとロレックスの関係性のクオリティを永続させる

公開と更新

本方針は規制、業界の慣行、社内プロセス、およびロレックスの戦略の変更を反映して更新されることがあり、その都度、再公開されます。

ロレックスのコミットメント

ロレックスは自社の調達方針の枠組みの中で、またサプライヤーとの関係において、2030年までに国連の持続可能な開発目標（SDGs）に以下の通り直接および間接的な貢献を行います。

- あらゆる形態の強制労働、現代奴隷制、人身売買、児童労働を根絶する
- 環境を損なうことなく世界の天然資源を効率的に使用し、予防、削減、リサイクルやリユースにより廃棄物を削減する
- 気候変動に対する意識を高め、脱炭素化を加速させ、持続可能なソリューションに投資しあらゆる気候リスクと戦う
- 若者や障害者を含め、すべての女性および男性に適正な仕事と同一労働同一賃金を保証する包括的な雇用を推進する
- 汚染を減少させ、投棄をなくし、有害な化学物質や原料の放出を最小限に抑えることで水質を改善する
- 労働者の権利を守り、安全で安心な労働環境を促進する
- 持続可能な方法で水資源を使用する

ロレックスの行動は伝統的に品質やスケジュール、そしてコストにより決定づけられています。現在はそれに持続可能性が加わり、ロレックスは以下を実行します。

- 関連地域、国内、国際的な該当の法令を遵守する
- 世界人権宣言と国際労働機関（ILO）の基本労働条約を遵守する
- 国連の児童の権利に関する条約と就業が認められるための最低年齢に関する条約（ILO 第138号）および、最悪の形態の児童労働条約（第182号）を遵守する
- OECDガイダンスの参照フレームワークに従う
- ロレックスの持続可能な開発憲章と行動規範内の原則を遵守する
- 持続可能な資源を利用する
- 取引のあるサプライヤーが責任ある活動していることを確認する

そのために、ロレックスのバイヤーは以下を必ず行います。

- 会社のニーズを的確に予測し、適切に対応するために率先して行動する
- 内部顧客とユーザーから要求される最高品質の指標を得るためにサプライヤーと密に連携する
- ロレックスの評価を保証するために、信頼できるサプライヤーとの関係を構築し維持する
- サプライヤーとその商品およびサービスが、ロレックスの持続可能な開発憲章を遵守していることを確認する
- 供給またはサービスの中断リスクを回避する
- 公正かつ公平な購買を保証する

ロレックスはサプライヤーに対して以下のように行動します。

- 各サプライヤーと強い協力関係を構築する
- 革新を支援する
- サプライチェーンの環境的および社会的悪影響を減らす行動を支援する
- 透明性のある質の高い長期間におよぶ関係を維持する
- やり取りの機密性を保証する

サプライヤーがロレックスの持続可能な開発憲章への署名を拒否したり、自社のサプライチェーンに関する情報の提供を拒否した場合、ロレックスは当該サプライヤーとの取引を開始しない、またはすでに取引がある場合は関係を終了する権利を持ちます。

ロレックスが取引を行っているサプライヤーから中程度または高程度のリスクが特定された場合は、サプライヤーが当該リスクに対処しているかを確認するために独立した第三者に監査を要請することがあります。

実行

ロレックスは、サプライチェーン全体にわたってサステナビリティ戦略を維持し、実行するよう務めています。実際には、この取り組みには人権や環境侵害のリスクを評価するための体系的なプロセスの導入が含まれ、このプロセスはロレックスのサプライヤーの評価と選定の指針にもなります。

サプライチェーンのリスク管理

ロレックスは、サプライチェーンにおける人権リスクおよび環境侵害の確率と重大性を評価するマトリックスを確立しました。

このマトリックスはロレックスの各調達カテゴリーに内在するCSRリスクを特定することを目的としています。ロレックスは、最新の地政学、メディア、業界の動向を反映するためにこのマトリックスを毎年アップデートしています。

ロレックスのすべての購買に対してデューディリジェンスとリスク管理が実施され、特に児童労働と、紛争地域から調達される鉱物や金属（ゴールド、錫、タンタル、タングステン）に重点が置かれています。この目的を達成するために、ロレックスはOECDガイダンスとその参照フレームワークに従っています。

年に1回開催される戦略的倫理&コンプライアンス委員会と、年に10回以上開催される運営委員会を通じてこの問題に対処するため、具体的な内部ガバナンスが導入されています。この2つの委員会は関連ステークホルダーを代表し、サプライチェーンのリスク管理に関して行われた決定を彼らに通知します。

また、サイバーセキュリティ、スケジューリング、供給停止、サプライヤーとの関係性、依存関係、市況、財務上の問題など、その他のリスクについても毎年評価されます。

サプライヤーの評価

ロレックスはまた、サプライヤーがベストプラクティスに従うよう、サプライヤーのリスク軽減プログラムを実施しています。サプライヤーは透明性を保ち、ロレックスが使用する素材の原産地、場所、商品の製造工程、サービスの場所を明らかにするために必要な、あらゆる情報を提供する必要があります。ロレックスはそのリスクレベルに基づき、生産、加工、または原材料抽出の現場で第三者によって実施される監査を事前通告あり、または通告なしで実施します。ロレックスは、軽微な不適合（文書による審査）については、コンプライアンスを達成するためにサプライヤーに6カ月の猶予を与え、現場で特定された重大な不適合については即時の行動計画を要求します。すべての進捗計画は監視および評価され、その有効性が証明されなければなりません。

ロレックスはサプライヤーのリスク管理に協力しますが、もしリスクが定着し、完全な制御ができないほど重大な場合、取引関係を終了する権利を有します。

新規サプライヤーの選定

高リスクグループについては、新規サプライヤーのロレックスのデータベースへの登録を許可する前に、倫理&コンプライアンスチームがデューディリジェンスの手順に体系的に従います。この手順はCSR規格に従っており、倫理的なサプライヤーの厳正な選定を保証します。すべてのサプライヤーはロレックスの持続可能な開発憲章へ署名する必要があり、これによりすべてのパートナーがロレックスの基本的価値観や取り組みに合致していることを確認できます。

通報システム

Rolex.comには報告システムが用意されており、これによりロレックスはサプライチェーンにおけるこの持続可能な調達方針、持続可能な開発憲章、および国際法の潜在的な違反に関するステークホルダーの懸念を考慮することができます。ロレックスは、報告者の個人情報の匿名性と機密性を保証するために第三者のプラットフォームを利用しています。

透明性

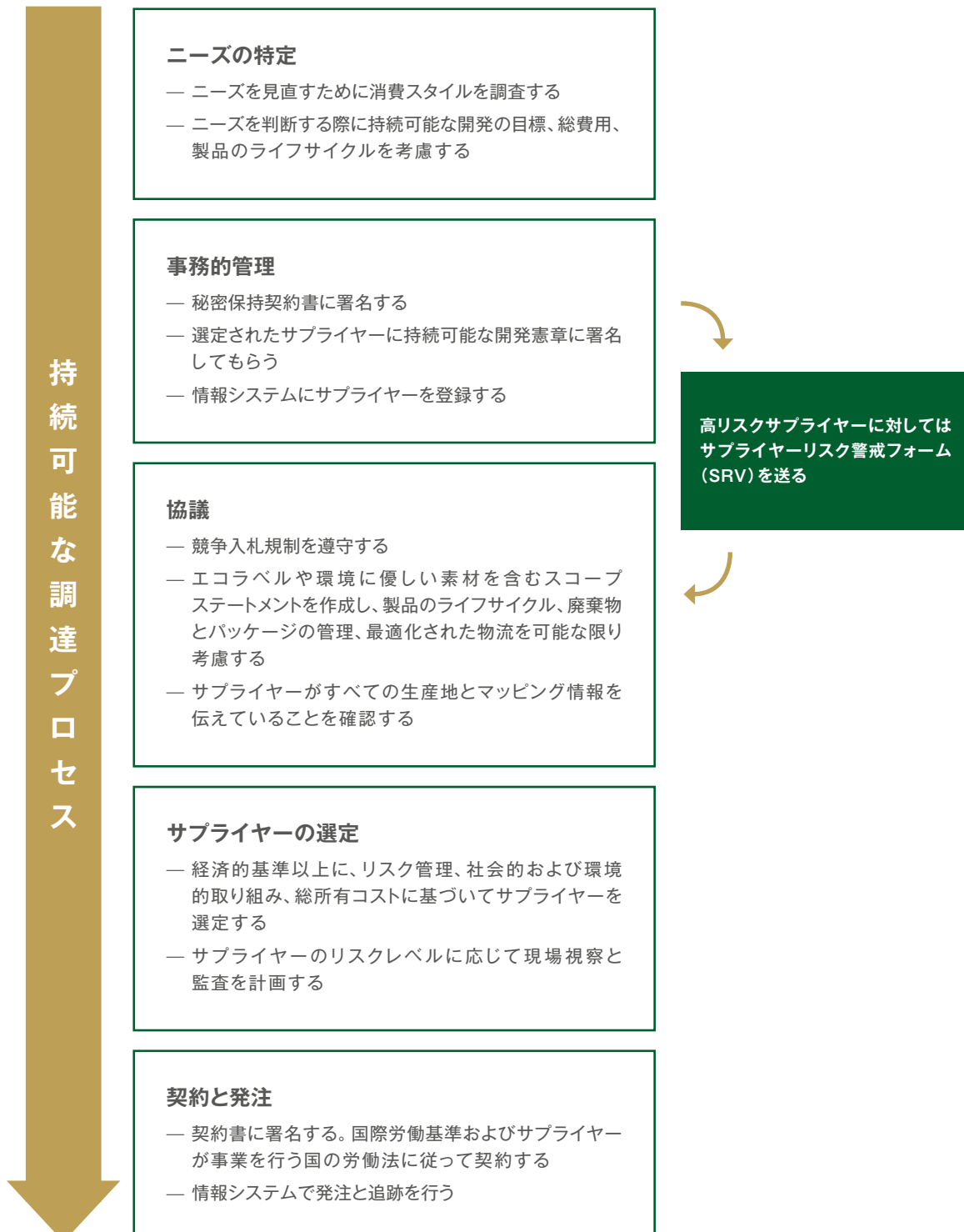
ロレックスはイントラネットや管理者専用のコミュニケーションチャネルを通じて、サプライチェーンのリスク管理システムの進化に定期的に社内で取り組んでいます。規則およびベストプラクティスは定期的に関係者に伝えられます。また、ロレックスはこの情報を毎年公開します。

社内慣行の第三者監査

ロレックスのコンプライアンス管理システムは、年に一度、独立した認定監査人による監査を受けます。

プロセス

供給元、バイヤー、内部顧客へのすべての新規発注や新規調査は、以下の調達手順に従わなければなりません。



版
1

日付
2024年5月

変更
調達方針初版